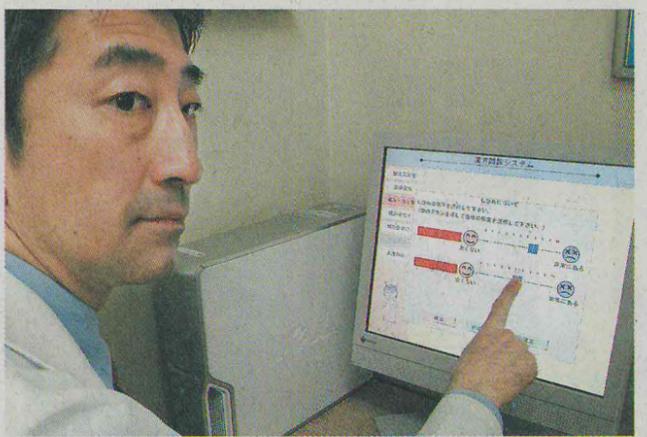


2千年以上の歴史をもつとされる漢方。西洋医学に東洋医学を加えた「統合医療」の可能性を探る厚生労働省のチームが発足し、あらためて注目が集まる。漢方活用に関する厚生省研究班(班長・黒岩祐祐国際医療福祉大学教授)は2月、経験の蓄積から科学的証拠に基づく医療への転換を図るべきだとの提言を発表。漢方医の「匠の技」の正体を明らかにする試みが始まっている。

「漢方医の技」解明へ



慶応大病院に設置された漢方問診システムを操作する渡辺賢治漢方医学センター長＝東京都新宿区

と治療法を選択する。こんな方法論をコンピューターで再構成するには、まず症状、診断、治療をくまなくデータ化することが求められる。

数式に乘せ証明

こうして集めたデータの解析を担うのは、東京大医学研究所DNA情報解析分野の宮野悟教授、井元清哉准教授らだ。まず取り組んだのは、初診の患者が、慶大病院式の漢方で症状が改善する確率の計算。確率が高ければ治

が、実際に3カ月後の症状改善がみられたという。問診データから診断をつ

ける試みも行った。漢方医学では体質や症状を総合して「証」という診断をつけるが、線が細い「虚証」とたこの研究は本年度から、体格のいい「実証」を計算 全国10施設に拡大する。多で判別すると、実際に医師の精度アップが見込める。がつけた判断と87%一致。患者によるシステム活用も医師の診断支援につながる視野に入れている。渡辺セ

研究規模を拡大 慶大病院単独で行っていた「証」という診断をつけるが、線が細い「虚証」とたこの研究は本年度から、体格のいい「実証」を計算 全国10施設に拡大する。多で判別すると、実際に医師の精度アップが見込める。がつけた判断と87%一致。患者によるシステム活用も医師の診断支援につながる視野に入れている。渡辺セ

ミニシャ 米空軍が4 米空軍は4 シャトルを小 な形状の無人 リタ州の空軍 上げた。今回 で、約9カ月 軌道を回った。 ミニシャト 990年代後

「西洋+東洋」統合医療の可能性探る

患者データを蓄積、活用

約2000の問診

東京都新宿区の慶応大病院。渡辺賢治漢方医学センター長に促されて問診用端末に向かい合うと、モニターに質問が表示された。食や睡眠などの生活習慣に加え、冷え、しびれなどの症状を部位ごとに聞かれ、その主観的な強度を0〜100の数値で入力していく。約2000の問診情報に医

師が下した診断や漢方製剤の処方などを加え、個人が特定される情報を除いた治療方針決定の一助になることが期待されている。「足の冷え」を例にとれば、120近い問診項目から、冷えと関係が深い35項目を数学的な方法で選抜。これら項目について対象の患者と回答傾向が似た別の患者の治療記録を比較し、改善が見込めるか判断する。ここで治療効果が期待できるとされた人の91%

科学

「本」を楽しく読もう



岩波書店の「理科読をはじめよう」に、講演内容が収録された辛島泉さん

子ども 大人

実験後の紹介効果的 苦手意識をなくして

科学読み物が多くなると、漢方氏が同書で初

同書に収録された講演テーマは「理科読の講演テーマは「理科読の講演テーマは「理科読の講演テーマは」子どもたちと科学のしさを、科学するモチベーションに科学読活動を続ける辛島泉さんが苦手だという科学の本を勧めたい。辛島代表は、児童科学読み物が市

遊歩道

おいしさの隠し味

「なぜかほっとする」とたり与え、基本的な味覚の言いながら、普段より甘い、甘味、塩味、酸味、苦味、物をたくさん食べる。身近な女性のそんな様子を見て研究を思い立ったという日本女子大の木本万里准教授(行動生理学)は、実際にストレスが原因で甘い物を多く取るようになるのか、ラットの実験で調べてみた。

すると、ストレスをかける時期や性別によって結果は異なったが、3倍の重力をかけた成長期のメスラットは本来は好まない酸味、苦味、辛味の溶液を多く飲むようになった。金網で拘束されたものは逆に辛味を取らなくなった。ともに体重の増え方も遅くなったという。

ラットの実験で確認



実験に使った遠心分離機に金網をセットする木本万里准教授＝東京都文京区の日本女子大

「一口にストレスといっても多様で数量化は難しい」と木本さん。そこで①小さな金網に閉じ込める(精神的ストレス)②遠心分離機で通常の2〜3倍の重力をかける(肉体的ストレス)③の二つのストレスを1日10分間、数週間にわ

ストレスで乱れる味覚

サイエンス

野生のトラの危機 一目で分かる地図 WWFが作製

野生のトラの生息が脅かされている世界の10地域と要因が一目で分かる地図を、世界自然保護基金(WWF)が作った。トラは今世紀初頭、世界で約10万頭いたとされるが、毛皮の採取や狩猟などで殺されたほか、生息域の環境悪化などで急速に減少。現在は4千頭前後との推定もある。中国では漢方薬原料として骨などに根強い需要があるほか、極東ロシアでは森林伐採で生息環境が悪化、バンクラデシユでは海面上昇で生息地の浸食が始まっているなど、各地で依然、脅威が大きいことを地図は訴えている。

日本語版のURLはhttp://www.wwf.or.jp/activities/2010/02/783416.html

ハトがリュック背負って遠足?



GDSの小型記録装置を背負ったハト(研究グループ・アコシユキ)

群れの行動 英の大学が ハトさん、リュックを背負って遠足 システですか? いえいえ、使ったリュックサックに見えるの記録